

科目名		<b>看護理論特論</b>	
科目責任者	立石 和子	(基礎看護学 教授)	
担当者	岡田 なぎさ	(基礎看護学 准教授)	
開講時期:	1年次前学期	単位数:	1 単位
		時間数:	90分× 8 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護学を学ぶ上で基盤となる看護の諸理論の概念、機能、構成要素を学修し、理論と実践の関係性を探求する。</li> <li>2) 自らの看護実践を振り返るために適切な理論を選択し、看護の本質を考える。</li> </ol> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護理論の歴史的社会的発展過程と役割、意義を説明できる。</li> <li>2) 看護実践と看護理論のつながりを説明できる。</li> <li>3) 適切な理論を用いて自己の看護の実践を振り返ることができる。</li> <li>4) 看護専門職として看護理論を活用して、対象に応じた看護を展開することに取り組むことができる。</li> </ol>			
● 評価方法	討議への参加度 20%、プレゼンテーション 40%、課題レポート 40%		
● 参考文献	講義の中で必要に応じて紹介する。		

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	ガイダンス 看護理論の変遷	科目のオリエンテーション 看護理論の変遷	立石
2	看護理論とは	看護理論の定義・構成要素	立石
3	看護理論の実践	代表的看護理論を通して、その主要な概念、 概念枠組と理論の特性を学習する	岡田
4～7	看護理論の実践 －症例検討－	一つの看護理論を自己の看護実践に適用する	立石
8	まとめ	看護理論の臨床への活用	立石